

9月は
がん征圧
月間

第100回 東京医科大学病院 市民公開講座

第1部 『膵がんの早期診断』

第2部 『ここまで進んだ肺がん診療』

【第1部 17:30頃】膵がんは近年、確実に増え続けているがんの一つであり、最も診断や治療が難しいがんとして知られていますが、最近ではどのような人が膵がんになりやすいかなどリスク因子がだいぶわかるようになってきました。また診断法にも大きな進歩がみられ、膵がんの早期診断も可能になりつつあります。こうした膵がん診断の最新情報を、膵がん診療ガイドライン委員でもある消化器内科 准教授 糸井隆夫医師が解説いたします。

【第2部 18:15頃】肺がんは、タバコが原因となることが知られています。しかし、たばこを吸わない女性にも増えています。近年、さまざまな抗がん薬が開発されています。手術では、体の負担を軽減して行うことが多く行われています。最新の治療法と肺がん診療の最近の進歩を呼吸器外科・甲状腺外科 教授 大平達夫医師が解りやすく説明いたします。

皆さまお誘い合わせのうえ、是非ご参集ください。

■日 時：平成27年9月25日（金）

開場 17:00

開演 17:30～

閉演 19:00（予定）

■会場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

■入場料：無料

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

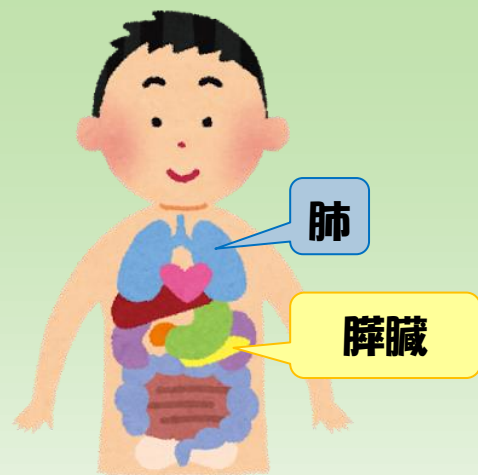
共催：東京医科大学

生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専



東京医科大学病院
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

100th
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY
since 1916